



「未来志向」「ONE TEAM」で、JR産業に「安心」を取り戻そう！

2022年 3月16日

日本鉄道労働組合連合会

JREユニオン 第2回団体交渉

会社の現状を踏まえ、「人への投資」を真摯に協議

会社の持続的な成長を見据え、「人への投資」を強く主張

JREユニオンは3月10日、2022年春季生活闘争の第2回団体交渉を行い、会社から示された景気動向や経営状況等をもとに協議した。

交渉で会社は、日本経済の動向等、今次闘争を取り巻く国内情勢について述べた上で、JR東日本の厳しい経営状況を踏まえ、「コロナ禍がもたらした新たな生活様式や社会変容により、移動需要が減少し、収入がコロナ禍前の水準に戻ることは難しい。さらには、デジタル技術の急速な進化により新たなサービスが次々と生まれている。当社も時代の変化に対応すべく、事業の構造改革を進めていかなければならない」としたうえで、「基準内賃金の引き上げについては、長期に亘って総額人件費に大きな影響を及ぼすことから、足元の状況を踏まえながら慎重に判断することが必要である」と繰り返し主張するなど、慎重な姿勢に終始したが、「貴側の申入れについては真摯に議論を進めていく」と回答した。

一方、JREユニオンは「賃金の引き上げは、社員の働きに対する満足度を向上するためにも必要であり、『変革2027』の実現に向けたこれまでの社員の奮闘を適切に評価し、実施していただきたい」と主張。さらに続けて「現在、若手社員を中心とした離職が増加傾向にある。確実な技術継承のもと、会社が持続的な成長を果たすためには、『人への投資』をはじめ、労働条件の向上や就労環境の改善を図りながら、安心して働き続けることのできる環境をつくっていくことが重要である」と強く主張した。

ポストコロナ社会に向けた「変革」がスピードアップする中、今こそ労使が一体となってこの難局を乗り越えるべく、JREユニオンは引き続き、社員と家族の幸福実現のため、生産性向上に見合った分配、生活の底上げ、底支え、格差是正を粘り強く会社に訴えていくこととしている。